



すみれが丘の野鳥（キジバト）

すみれが丘

すみれが丘だより 平成23年秋号

発行：すみれが丘町内会、取材・編集：広報部会／ホームページ・広報誌編集委員会

～秋号の内容～

1. すみれ夏祭りが開催されました
2. ブロック組長会を開催
3. (特集) 防災について考える
4. 民生委員にお話を聞きました
5. 専門部会からのお知らせ
6. おくやみ



迫力満点のダンスチームの踊り



しっとり涼やかなジャズバンドの演奏



すみれが丘盆踊会の皆さんと一緒に踊りました



すみれっ子ウルトラクイズに集まる子どもたち

1. すみれ夏祭りが開催されました

すみれ夏祭り実行委員長 木口真人

去る8月20日（土）に第2回のすみれ夏祭りを開催しました。終盤に雨が降りましたが、猛暑も一段落の日となり、子どもたちにとって楽しい一夜となったのではないのでしょうか。今回は出店数15、出演団体10を数え、来場者数も4,000名を超えました。

3月の東日本大震災を受けて、当初実行委員会では開催の是非についての議論も交しました。最終的には「がんばれ！日本の子供たち」をテーマに、東北の復興への願いも込めて開催することとしました。すみれが丘町内会に多大な後援をいただいたほか、サポーターや組長の皆様のご協力、他の多くの方々のご理解、ご支援、ご寄付があって開催することができました。この場を借りてお礼申し上げます。

今後も「子どもたちの思い出づくり」をメインテーマにしながら、お祭りを通じて地域が元気になるように考えて行きたいと思います。引き続きどうかよろしくお祈りいたします。



すみれ夏祭りにたくさんの方が参加

2. ブロック組長会を開催

すみれが丘町内会では、今年度より「ブロック組長会」を開催しています。これはブロックごとに組長さんが集まって、情報・意見の交換を行うとともに、議論の内容、特に様々な問題点をブロック会長・役員会を通じて町内会で広く共有し、今後の町内会活動に役立てようというものです。

ブロックによって開催時期や議事の進め方はさまざまですが、主として組長さんの仕事の詳しいQ&Aのほか、身近な問題であるゴミ、住環境、防犯、防災、交通などについて意見や情報の交換が行われています。組長さんには事前できるだけ各組の会員の意見をまとめていただくようお願いしています。

すでに開催されたブロックでは、例えば会費徴収の方法への意見のほか、ゴミの出し方についての意見、街灯に関する要望、広告・看板に関する意見、町内会未加入者の問題の指摘などがあり、活発な意見交換が行われています。

組長さんには今後もご協力をお願いします。

町内会のホームページ (sumiregaoka.com) もぜひご覧ください (「すみれが丘町内会」で検索)

3. (特集) 防災について考える

～防災部会長・副部会長に聞く～

取材担当：中川由紀（消防団員・広報部会）

すみれが丘町内会には専門部会の1つとして防災部会があります。今回は加藤部会長と滝澤副部会長に災害への備えについてお話を聞きました。

==== = ==== = ==== = ==== = ==== = ==== = ====
Q. 3月におきた東日本大震災により、住民の皆さんの防災に対する意識は高まったとは思いますが、あえて一番大切な事は何でしょうか？

A. 自助努力です。

ここでいう自助努力とは、自分だけがよければ良いという我欲ではなく、自分・家族・向こう三軒両隣で助け合うことです。ですから、自分と家族を守るための数日分の水・食糧・トイレ・火・電灯などを絶えず確保しておくことが大切です。震度5強発生時には、向こう三軒両隣にも声をかけ、速やかに安否確認をし、助け合ってください。これには普段からの近所づきあいが必要ですね。

Q. 災害時には避難所である小学校に行けば何とかかなりですか？

A. なりません。

皆さん誤解をされている方が多いと思いますが、避難所に来たら毛布や食料がもらえるわけではありません。小さいお子さんがいるからとか、高齢者だからという優遇もありません。防災備蓄倉庫の中にある毛布についていうならば、20枚しかありません。ほかの備品についても同じように、全員分には到底足りない数なのです。



すみれが丘町内会の防災備蓄倉庫

(すみれが丘約1,750世帯に対して備蓄物資はごく限られています)

避難所は行政からの物資が届く拠点ではあるので、災害後行政などが動き出せば支援物資が入りますが、横浜市内483か所の避難所がありますので、物資が届くまでは各家庭で用意をしておいた水や食糧がとても重要になります。

ですから、最初に自助努力が大事だとお伝えしたのです。先日の震災後は、いろいろな方が一斉に買いだめに走り、スーパーの棚がガラガラになり、本当に必要な人が買えないという状況がありました。そうならない為にも日頃から確保しておく必要があります。

Q. 毎年行っている避難訓練について教えてください。

A. 今年は10月15日(土)13時からすみれが丘小学校体育館にて地域防災拠点訓練を行います。

今回は目黒巻の書き方(災害時の状況を自分自身の問題としてイメージトレーニングする方法)をします。大きめのタオルと筆記具を持参して下さい。

今年からブロック別に教室に入る場所を決めましたので、自分がどの教室か確認するためにも皆様お誘いあわせの上ご参加ください。

おにぎりを握ったり、段ボール壁を作る事前準備のお手伝いをして下さるボランティアの方を募集しています。お手伝いの出来る方は滝澤副部会長(TEL 592-1043)までご連絡ください。

Q. 5月15日に行った初期消火訓練を終えての感想はいかがでしたか？

A. 訓練の際は初期消火箱の近くにお住まいの方は参加していただきましたが、それ以外の方が少なかったのがとても残念でした・・・。

==== = ==== = ==== = ==== = ==== = ==== = ====
<取材担当より>

この最後の質問については、加藤部会長・滝澤副部会長・消防団員の私3人の意見が一致し、話が大いに盛り上がりました。

例えば、皆さん地震など大きな災害時に自宅から火が出たらどうしますか？

まずはお持ちの消火器で消す努力をする、それで消えなかったら・・・消防車が来て消してくれると思いませんか？災害時は普段のように消防車は来られません。ということは、ご近所の方々の力を借りて火を消さなくてはなりません。

次にご自宅の近くに消火栓と初期消火箱がどこにあるか知っていますか？

消火栓があっても初期消火箱からホースなどを担いで持って来なければ放水できません。初期消火箱に入っているホース(1本)の長さは20メートルです。ちょっと重いです。足りなければもう1本足します。初期消火箱が近くにない方こ

そ、ホース等を取りに行く時間がかかるので、場所と使い方を知らないとその間に火はどんどん広がることとなります。また、町内に初期消火箱の設置個所が少ないのも事実です（下図参照）。初期消火箱の設置を増やす必要があります。

ご自宅近くの消火栓・初期消火箱の場所を知らない方は、是非確認しておいてください。すみれが丘ホームページにも載せてあります。そして、初期消火箱を自宅（道路側）に設置しても良いという方がいらっしゃいましたら加藤部会長（TEL 593-0833）までご連絡ください。ご協力よろしくお願ひいたします。併せて消防団員も募集しています。



初期消火箱



防災備蓄倉庫・初期消火箱（●）の設置位置

（ご自宅との位置関係をみてみましょう。お近くにありますか？）

すみれが丘町内会の防災への取り組みは、防災備蓄倉庫等での災害時の対応機材の備蓄・整備のほか、初期消火訓練（春）、地域防災拠点訓練（秋）、災害時対応組織の整備（検討中）、災害時などに援助が必要な方の把握（名簿整備済み）など多岐にわたっています。去る9月20日（火）には、すみれが丘小学校 PTA 主催で開催された家庭教育学級「女性の視点からの防災ワークショップ」にも参加・協力（一般の方は児童を通しての申し込みが必要な行事）しました。すみれが丘小学校防災拠点運営委員会との連携の検討なども進めているところです。

地域防災拠点訓練についてはすでに回覧でお知らせしていますが、下記の日程で開催します。

ぜひ多数のご参加をお願いします。

地域防災拠点訓練

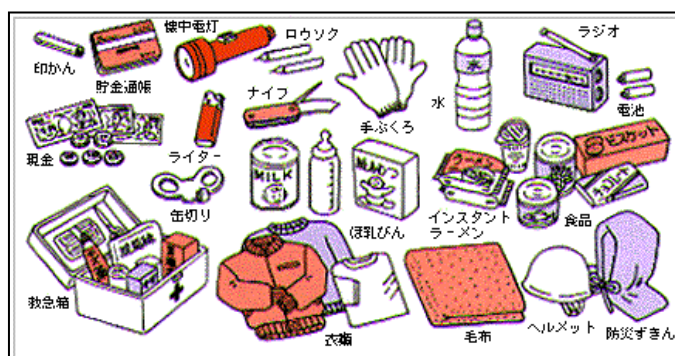
日時：平成23年10月15日（土）13:00～

場所：すみれが丘小学校体育館

内容：防災無線の訓練、消防署長講演、心肺蘇生・AEDの使い方、災害時避難訓練（防災備蓄倉庫等の見学）ほか

<防災グッズの紹介>

総務省消防庁が「非常持ち出し袋には、最低これだけは必要」としている機材等は以下のとおりです。ぜひ各ご家庭でご準備ください。



* 印かん、現金、救急箱、貯金通帳、懐中電灯、ライター、缶切り、ロウソク、ナイフ、衣類、手袋、ほ乳びん、インスタントラーメン、毛布、ラジオ、食品、ヘルメット、防災ずきん、電池、水、携帯トイレ

（出典：<http://www.fdma.go.jp/html/life/sack.html>）

<東日本大震災の被災地の様子>

すみれ夏祭りでは、実行委員の一人である清水さん（復旧のボランティアに参加されました。）に東日本大震災の被災地の状況をご紹介いただき、支援グッズの販売も行われました。



集積されたがれき



写真・アルバムの修復作業
（撮影：清水力さん）

4. 民生委員にお話を聞きました

取材担当：広報部会 間々田貴美子
すみれが丘では、現在4名の民生・児童委員と1名の主任児童委員の方々が活動されています（民生委員法、児童福祉法に基づき厚生労働大臣が委嘱。任期は3年。無給。）。民生委員・児童委員は地域住民の身近な相談相手、行政とのパイプ役であり、学校と連携するなどして子どもから高齢者まで、皆さんが元気に安心して暮らせるように見守ってくださっています。具体的には、一人暮らしの高齢者や高齢世帯を訪問し、安否確認や孤立予防を兼ねた「ふれあい昼食会」、「ふれあい友遊」へのお誘いなどをされているそうです。3年前に作成された災害時要援護者の名簿は支援活動に大いに役立っているそうです。

民生委員から見ると、すみれが丘は山田地区（南山田・北山田・すみれが丘）内でも高齢化率が最も高い地域だそうです。しかし、長年住み良い街づくりに努力されてきた元気な高齢者が多く、生活環境の良い閑静な住宅地でのゆとりある暮らしぶりがうかがえ、高齢であっても自立して生活していこうと考えている方が多いそうです。

そのような良い環境のおかげでしょうか、子どもの生活面では、他地域に比べて虐待の通報が非常に少なくなっています。しかし、交通／安全の事情もあってか公園以外では子ども達が外で遊ぶ姿が少なくなったと感じているそうです。

また、数十年來の住民同士の絆は深まっているが、隣近所の交流は薄れてきていると感じることもあり、夏祭り委員など若い方の活躍に期待が高まっているとのこと。『高齢者、若い方、子どもが集える場があると、いざという時の支え合いに役に立つのではないのでしょうか。まずは、ご近所、通りすがりの挨拶やちょっとした声かけから始めませんか。町全体が未来の子ども達の成長を見守り、豊かな老後を過ごせる素敵な街であってほしいと願っています。お困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。』とのことでした。

個人が尊重される時代にあって、個々を支える活動にはご苦労がおありでしょう。今回お聞きした委員さんは皆様とても親切な方々です。「いつもありがとうございます」という気持ちでいっぱいになりました。

5. 専門部会からのお知らせ

○体レク・子ども部会（川村部会長）

毎年恒例の歩け歩け大会を下記のとおり実施します。多数のご参加をお待ちしています！

また今年も11月20日（日）にすみれが丘小学校で餅つきも計画しています。今後の回覧、ホームページでご確認の上ご参加ください。

すみれが丘歩け歩け大会

日 時：平成23年10月16日（日）08：40～

集合場所：すみれが丘第一公園

予定コース：集合場所～けやき通り～みかん園～ひかりが丘公園～長徳寺～牛久保公園～北山田小～、おおよそこのようなコース（約6km）を2時間半ほどで歩きます。

○環境衛生部会（石井部会長）

今年もけやき通りの清掃を下記のとおり実施します。ご協力のほどよろしくお願ひします。

平成23年11月27日（日）3,4,5ブロック

平成23年12月4日（日）6,7,8ブロック

平成23年12月11日（日）1,2ブロック

6. おくやみ

平成23年度には8月までに次の方々について、ご逝去のお知らせをいただきました。こころよりご冥福をお祈り申し上げます。（敬称略）

| | | |
|---------|---------|-----------|
| 平成23年5月 | 故 橋本フミエ | 28-8 靄島様方 |
| 平成23年5月 | 故 原口 トヨ | 25-47 |
| 平成23年5月 | 故 新井 利之 | 41-37 |
| 平成23年6月 | 故 沓沢 ナヲ | 25-24 |
| 平成23年8月 | 故 今西 泰子 | 23-17 |

<編集後記>

※今回の防災特集、民生委員の方へのインタビューではお二人の方に取材をお願いし、すばらしい記事をいただきました。大感謝です。

※家庭での災害への備えの重要性を改めて認識しました。まずは家の中を点検してみたいと思います。

※最近サークル活動の広報について問い合わせをいただきました。今号では掲載できませんでしたが、ホームページでお知らせしたいと思います。ぜひご覧ください。

*記事・記者募集！！

※ホームページや広報誌の記事作成、取材記者、編集委員を募集中です。下記担当までご連絡ください。

担当：広報部会副部長 西 浩司

電話：594-1971、メール：info@sumiregaoka.com